

めるへん

社協発



発行 社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会 TEL72-5513 FAX72-2816
大分県玖珠郡玖珠町大字岩室24番地の1 (くすまち総合福祉センター内)

玖珠町ファミリーサポートセンター よろしく会員・まかせて会員交流会



2月8日、『春まつり!』という名の『夏まつり?』と題し、老人福祉センター「万年の間」にて、よろしく会員・まかせて会員交流会が行われました。

ヨーヨー釣りや折り紙コーナー等、8か所のブースの中で一番人気は、ダルマ落としコーナー。ダルマが倒れるたびに会場に笑い声が響き渡りました。「会員さんがとても優しく、親も子ども安心して参加することができました」「今後も安心して、利用することが出来ます」等、多くの声が聞かれ、15回目の交流会を大成功で終えることが出来ました。



3ヶ年計画最終年度報告会が開催されました

— 共同募金会助成 —

3月3日、玖珠自治会館で、「第5次福祉活動計画・小地域福祉活動計画」の最終となる4地区合同報告会と地域づくり講演会が開催されました。(参加者58名)

4地区の代表者から、“高齢者の見守り”や“防災の取組”“助け合い活動”等についての報告があり、若い世代との交流や空き家対策、活動の継続等が課題としてあげられました。

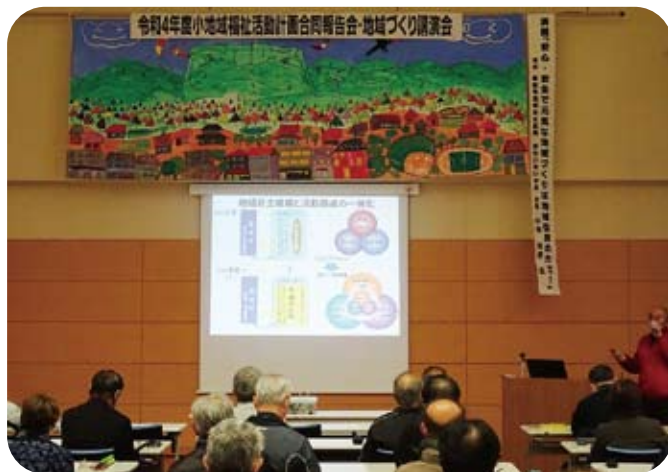
地域づくり講演会では、島根県雲南市の地域自主組織「新市いきいき会」会長、小林和彦さんより、「安心・安全で元気な地域づくりは地域住民の力で!」と題して講演いただきました。

地域づくりは、住民同士がよく話し合うこと、一人でも多く仲間に取り込むこと、若い人は仕事や子育てで活動が難しいことを踏まえ理解を得ることが大事、安心・安全をつくるには、自助と共助の間に“近助(近所)”があることなどをお聴きしました。

また、雲南市は行政と地域との関係性が明確になっており、地域が取組む活動に手厚い行政支援があることなども、興味深いお話でした。

参加者からは「各地区の取組みが良く分かった」、「雲南市のとおりには行かないが、自分達も頑張ろう」と前向きな感想が聞かれました。

さあ、本年度から「第6次地域福祉活動計画」(5ヶ年)に揚げた地域づくりを始めましょう。



今回のキラッと☆



今回のキラッとさんは、北山田地区の元気高齢者石井勲さん(84歳)です。

若い頃から身体を動かすことが大好きで、野球・ソフトボール・駅伝・パラグライダー・登山等を楽しんできたそうです。平成3年の台風19号で職場の片付け中、意識を失うような大怪我をした後、絶対歩きたいという気持ち強くもち、リハビリにはげみ、歩けるようになりました。それからは、職場でも休み時間を利用してウォーキングを続けたそうです。

75歳で退職した後は、地区の老人クラブや週一体操教室・いきいきサロンのお世話役として活躍しています。自治区の清掃作業などのボランティア活動にも積極的に参加しながら、毎日4時間の登山やトレッキングは、30年間続けているそうです。座右の銘は「年を取ってから、人のために働け」で、農業仲間と助け合いを大切にしているとのこと。

これからも、益々のご健勝をお祈りいたします。

ふだんのくらしのしあわせを 知ってもらうために

3月7日、森中央小学校3年生が福祉について学びました。（児童31名）

“普段の暮らしの幸せ” “支え合い助け合う地域” 社協の役割や仕事についての講話を聴き、実技では見え方・聞こえ方・手指機能などについて学びました。

児童には、視力・聴力や手指機能が低下した疑似体験で、高齢者の不自由さを感じてもらいました。

黄色のフィルムが入った
ゴーグルをつけて



壁の矢印をみた
「赤色は見えるけど、青色や黄色は見えにくいわ〜」

広告や新聞を読む
「新聞の字が読みにくい、ぼやける〜」



原稿用紙に名前を書いてみた
「マス目の中に字がなか
なか入らないよ」



軍手をはめてボタン通し
「難しい〜なあ」



“いきいき”健康寿命アップ

3月1日（水）玖珠自治会館にて、令和4年度ふれあいいきいきサロン交流会を開催し、60名のサロン代表者にご参加いただきました。

講師の生田憲子さんから、サロンで活用できる体操やレクリエーションの紹介と「富士の山」「365歩のマーチ」「みかんの花咲く丘」の歌に合わせて行う体操について、詳しく解説していただきました。参加者からは「早速うちでもやってみよう」との声が多く聞かれました。

玖珠町役場の秋好統括から、「大分県の健康寿命が全国で1位となった」との報告と、サロン活動を行う際は引き続き感染症対策の継続のお願いがありました。

グループワークでは参加者の高齢化や男性参加者が少ないなどの悩みが出され、若い人も参加できるように、開催日の変更やボランティアの協力、若い人が参加しやすい催しなど工夫している等の意見もあり、有意義な意見交換ができました。



関節の動きを確認し、ストレッチ体操を学ぶ

3月24日（金）玖珠自治会館で、令和4年度第2回介護予防サポータースキルアップ講座が開催され、49名が受講しました。

講師は、NPO法人ヘルスフィットネス代表松元義人氏で、①めじろん体操のポイントを確認、手や足、身体をゆっくりしっかり動かす。②頭から足先までの関節の動きを確認し、ストレッチ。③音楽に合わせて身体を動かす体操を学びました。体操に音楽を使うことは、脳活性にも良いそうです。

11月に開催された令和4年度介護予防サポーター養成講座を経て、15名が新たにサポーターとなり4月末現在、87名のサポーターが、地区のサロンや週一体操教室で活躍されています。



自分達ができることで社会貢献

玖珠町身体障害者協議会は会員数の減少と高齢化に併せて新型コロナウイルス感染防止のため、これまで通りの活動が出来なくなっています。今年度は事業内容を見直し、グランドゴルフ・パークゴルフ・フライングディスクなど、少人数でも出来る活動を増やしています。また地域の皆さんにお世話になることが多い団体なので、何かの形で社会貢献してみようと、新聞紙のエコバッグを会員の皆さんが50枚作成し、道の駅に置かせてもらい活用いただいています。



身障者手帳をお持ちの方、玖珠町身体障害者協議会に入会して、一緒に活動してみませんか。



問合せ先：

玖珠町身体障害者協議会事務局
(玖珠町社会福祉協議会内)

TEL 72-5513 FAX 72-2816

介護保険のお話 ③⑦



《新シリーズ No.2》 介護保険って何？

今回は介護保険制度が開始された理由についてお話します。

日本の老人福祉制度が始まったのは1960年代、その頃の高齢化率はまだ5.7%でした。70年代には老人医療費が無償化になり、誰もが安心して病院に行けるようになりましたが、反面、介護のための病床が不足するという状況が生まれました。その頃の高齢化率は9.1%、90年代に入ると12%に達し、いよいよ高齢社会となった日本は、老人福祉制度の大転換が迫られました。それは以下のようなことが問題となったからです。

- ① 高齢者の増加とともに、介護を必要とする人が増加すること
- ② 寿命の延伸により介護を必要とする期間が長くなること
- ③ 核家族化が進み、家族に介護を期待する事が難しくなったこと
- ④ 介護する家族自体が高齢化すること



そこで、これまでの施設を利用した介護から在宅での介護にシフトし、介護の必要な方の自立支援・家族の介護負担軽減を目的として1997年に「介護保険法」が制定され、2000年4月から介護保険制度が施行されました。この時高齢化率は17.2%でした。

このような理由で介護保険制度が始まりました。次回からは介護保険制度の内容についてお話をしていきます。

『しゅーいち』元気アップ広場



今回ご紹介する『しゅーいち』は、玖珠地区山浦花香の「美女と野獣サロン」の皆さんです。

毎週水曜日の19時から、DVDを使って、めじろんリズム体操・めじろん体操・ラジオ体操を行っています。

皆さんで集まりやすい時間を相談し、今では定着しているそうです。参加者からは「体操をするようになって、立ち座わりの動作がしやすくなった」「膝の痛みがやわらいだ、体操をした方が体の調子が良く感じる」などの声が聞かれました。

花香地区にお住まいの方ならどなたでも参加できます。

自分の健康と地域の元気をめざして『しゅーいち』を始めませんか。



玖珠町社協では、健康寿命延伸のため地域ごとに定期的に集まり体操を行うことを推奨しています。開催を検討している地区があれば、事前の説明会にお伺いする事もできますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

『しゅーいち』についてのお問合せ

玖珠町社会福祉協議会 ☎(72) 5513
玖珠町地域包括支援センター ☎(72) 7154



デイサービスだより

デイサービスの畑でちもとの収穫をしました。
みんなで作業をして、お昼ご飯の一品になりました。

ちもとの
酢味噌和え



ひな祭り。みなさんでお雛様お内裏様の仮装をしました。時には男女逆転も（笑）



職員から歌のプレゼント
みなさんとても喜んで聴いてくださいました。



職員紹介

令和5年度、新体制で福祉のまちづくりに取り組んでまいります。ご支援ご協力、よろしくお願いいたします。

地域福祉推進部

介護保険部



(総合相談事業)



(訪問介護)



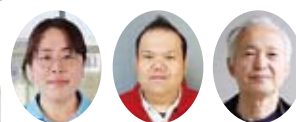
(居宅支援)



(地域福祉事業)



(通所介護)



包括支援部

管理部



退職
河野 美佐
時松 美咲
江田 智美
黒川 伴子
山本 美子
平川 香代子

愛の贈物

(令和5年2月1日
〜令和5年3月31日)

香典返し

たかす上	佐藤 清子	田の口	石井由美子	魚返	武石 信策	川底	川口 明則	中島	森 久一郎	笹原	秋好 克則	池の平	野田 健	倉ヶ崎	井上 孝行	杉河内	渡邊フサ子	片平田	村田 寿	下綾垣	帆足 建一	元組松	佐藤 典子	内校区	武石 和代	学原	森本 和子	伏横	小幡 友昭	下市	神田 敏行	下関	名市	1件
------	-------	-----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	-----	------	-----	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	----	----

物品寄付

陸上自衛隊玖珠町駐屯地曹友会	山王 梅木 敬子	田中 梅木 千鶴	寺村 梅木 和子	1件
----------------	----------	----------	----------	----

平鳥 原屋	志津里 廣由	1件
-------	--------	----

寄付金

1件

岩室温泉かたらいの湯 営業時間変更

5月1日〜9月30日 平日 午後1時〜午後7時
土日 午前9時〜午後7時

入館料 (入浴料含む)

- ・町内小学生、65歳以上… 110円
- ・町内13歳以上65歳未満… 220円
- ・町外65歳以上… 160円
- ・町外13歳以上65歳未満… 270円

休館日

- ・月曜日 (祝日の場合は、翌日)

新型コロナウイルス感染防止対策として、引き続き平日は午後からの営業になっております。



陸上自衛隊玖珠駐屯地曹友会(会長吉田信也氏)様より車椅子を寄贈いただきました。必要な町民の皆さんのために貸し出し、有効活用いたします。誠にありがとうございました。

心よりお礼申し上げます

一期一会 『生きていくという事』

社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会

会長 小田原 利美

今から五十七年前、大学受験に失敗し、親元を離れ、熊本で一年間浪人生を送った。その翌年、右も左も分からず、知り合いもない東京の三畳一間のアパートで自炊しながら、獣医師になるための大学生活を始めた。そんなある日、何気なくつけたラジオの「誰かと どこかで」から流れてきた永六輔の詩は、何故か今でも忘れられない。

生きていくということは、誰かに借りをつくること
生きていくということは、その借りを返してゆくこと
誰かに借りたら、誰かに返そう
誰かにそうしてもらったように、誰かにそうしてあげよう
生きていくということは、誰かと手をつなぐこと
つないだ手のぬくもりを忘れないでいること
めぐり逢い、愛しあい、やがて別れの日
その時に悔やまないように、今日を、明日を生きよう
人は一人では生きてゆけない
誰も一人では歩いてゆけない

生まれてこのかた七十五年、これまで私は多くの人とめぐり逢い、多くの人に支えられ、そして多くのひととの別れを繰り返してきた。そんな繰り返しのうちに今の私がある。
改めて思う。誰かに借りを作り、誰かに借りを返していきながら今日を、明日を生きて行こうと。

5月・6月のスケジュール

日	月	火	水	木	金	土
4 / 30	5 / 1 ■老人福祉センター 休館日	2 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	3 (憲法記念日) ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線)	4 (みどりの日) ■ふれあい福祉バス (小野原線)	5 (こどもの日) ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線)	6
7	8 ■老人福祉センター 休館日	9 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	10 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	11 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	12 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	13
14	15 ■老人福祉センター 休館日	16 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	17 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	18 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	19 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	20
21	22 ■老人福祉センター 休館日	23 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線) ■男性ふれあい広場 (老人福祉センター)	24 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	25 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	26 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	27
28	29 ■老人福祉センター 休館日	30 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線) ■無料障害者年金相談 (要予約)	31 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線)	6 / 1 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	2 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線)	3
4	5 ■老人福祉センター 休館日	6 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	7 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	8 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	9 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	10
11	12 ■老人福祉センター 休館日	13 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	14 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	15 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	16 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	17
18	19 ■老人福祉センター 休館日	20 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	21 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター) ■無料法律相談 (要予約)	22 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	23 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	24
25	26 ■老人福祉センター 休館日	27 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線) ■男性ふれあい広場 (老人福祉センター)	28 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	29 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	30 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	7 / 1

編集後記



今年の春は、コロナ禍で中止されていた自治会館まつりが4地区とも開催された。昨年は、コロナウイルス感染状況からやむなく中止したと聞いた。今年は、地区ごとに感染対策の工夫をして、これまでとは違った特色のある祭りがあこなわれていた。若い世代の参加が少ない・協力が無い等よく地域からの課題を聞くが、各地区とも、若い方々も多くいたことと、地域の皆さんの協力体制があることに感動した。

この素晴らしい地域力は、これからの福祉のまちづくりには、役立つところだ。

私も、時代の変化に乗り遅れないよう、頭を柔らかくして地域づくりに協力したい。(E)

